

箱根山の火山活動解説資料

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

＜噴火警戒レベル 3（入山規制）が継続＞

本日（2 日）、気象庁は神奈川県温泉地学研究所と合同で現地調査を実施しました。その結果、6 月 29 日に確認した噴気孔から引き続き白色の噴気が勢いよく出ているのを確認しました。また、この噴気孔の周囲にも 3 つの新たな噴気孔を確認しました。その周辺の大涌谷温泉供給施設でも引き続き蒸気が勢いよく噴出しているのを確認しました。

【防災上の警戒事項等】

大涌谷周辺の概ね 1 km の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では、火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

○ 活動概況

・噴気孔の状況（図 1～4）

本日（2 日）、気象庁は神奈川県温泉地学研究所と合同で現地調査を実施しました。現地調査の結果、6 月 29 日に確認した噴気孔から引き続き白色の噴煙が勢いよく出ているのを確認しました。この噴気孔の大きさは 20m 程度でした。また、噴気孔の周囲にも 3 つの新たな噴気孔を確認しました。その噴気孔の周辺の大涌谷温泉供給施設でも引き続き蒸気が勢いよく噴出しているのを確認しました。有色噴煙、降灰は確認できませんでした。また、噴石の飛散や飛散跡は確認できませんでした。

大涌谷に設置している遠望カメラによる観測でも、これらの噴気孔とその周囲の大涌谷温泉供給施設から引き続き蒸気が勢いよく噴出しているのを確認しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 25000（地図画像）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図1 大涌谷周辺の状況（2015年7月2日撮影）

- ・大涌谷温泉供給施設で引き続き蒸気が勢いよく噴出しているのを確認しました。
- ・本日（2日）の現地調査で、6月29日に確認した噴気孔の周囲に3つの新たな噴気孔を確認しました。

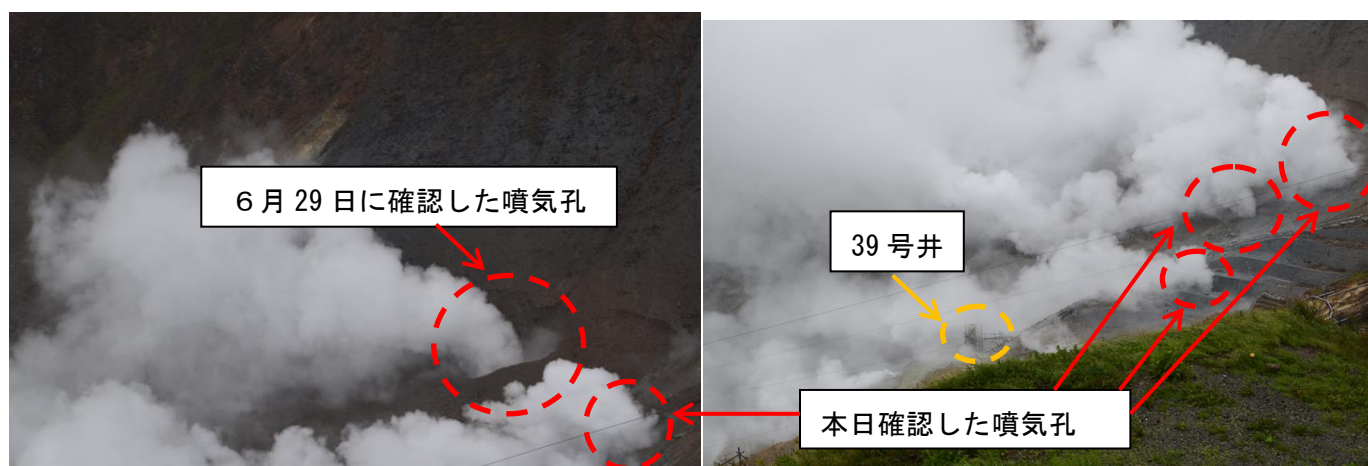


図2 大涌谷 新たな噴気孔の様子（2015年7月2日撮影）

- ・6月29日に確認した噴気孔（赤丸）から引き続き蒸気が勢いよく出ているのが確認できます。噴気孔の大きさは20m程度でした。
- ・本日の現地調査で、6月29日に確認した噴気孔の周囲に3つの新たな噴気孔を確認しました。
- ・39号井は5月3日以降蒸気の勢いの強かった温泉井です。
- ・本日の現地調査では、有色噴煙、降灰は確認されませんでした。また、噴石の飛散や飛散跡も確認できませんでした。



図3 大涌谷の噴気孔の概略位置（赤点線は6月29日に確認した噴気孔）

●：5月3日以降蒸気の勢いの強かった温泉井

●：大涌谷遠望カメラ位置



図4 大涌谷の状況（7月2日、大涌谷遠望カメラによる）

・赤丸内の6月29日に確認した噴気孔及び本日確認した噴気孔とその周囲の大涌谷温泉供給施設から引き続き蒸気が勢いよく噴出しているのを確認しています。

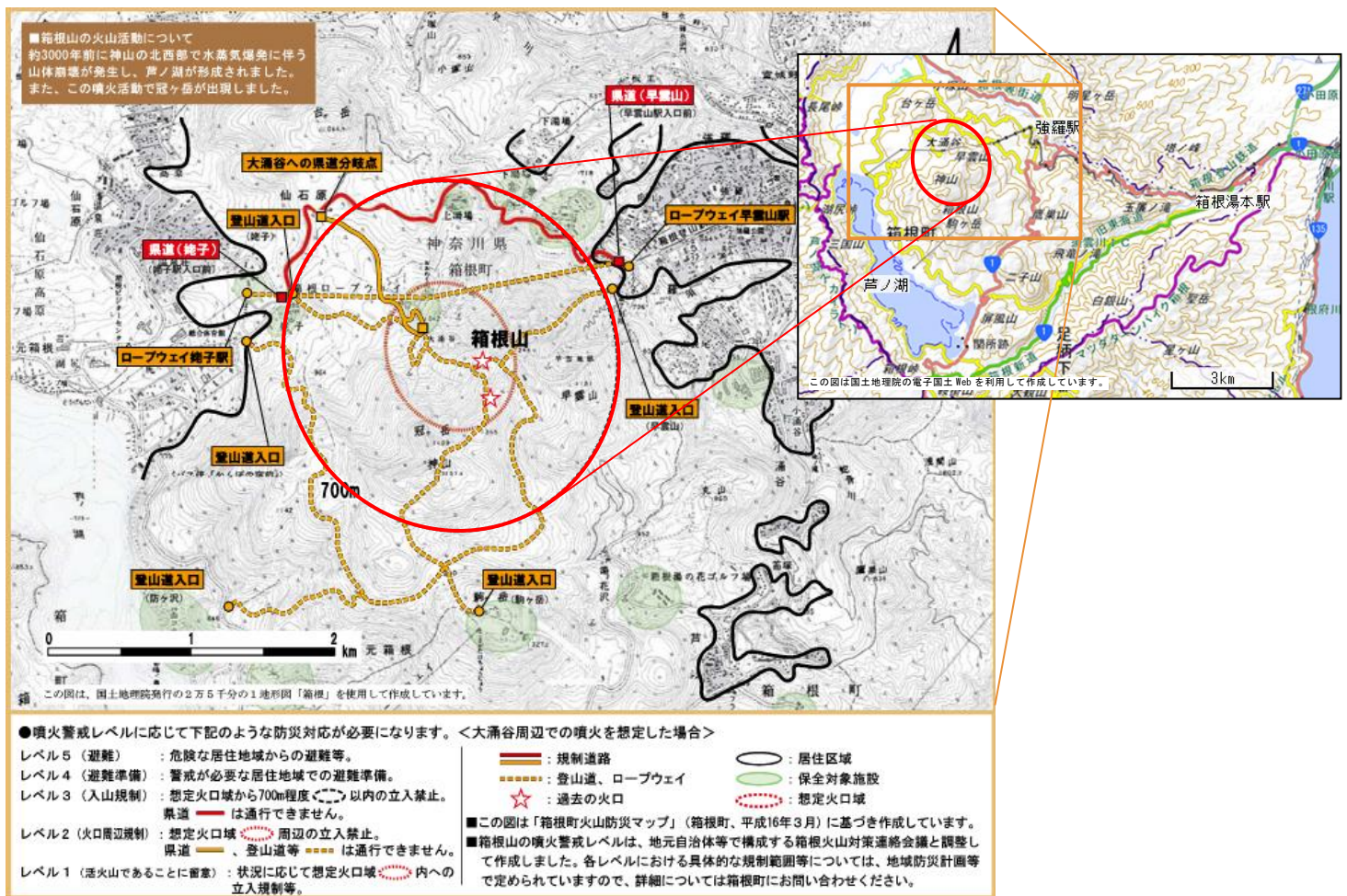


図5 警戒が必要な範囲：大涌谷周辺の概ね1 km の範囲（図の赤円 ○内）